バイオマス産業都市推進協議会　２０２２年度事業報告
(2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)

本協議会は、農林水産省補助事業の支援を得て、2014 年 7 月 23 日にバイオマス産業都市選定地域で構成される「バイオマス産業都市連絡協議会」として発足し、バイオマス産業都市構想の実現に資するため、構想実現に向けた課題及び対応策の情報共有を行うとともに、バイオマス産業都市として選定された地域間のネットワーク化を目的として活動しています。

本協議会の会員数は、2023 年 3 月 31 日時点で 183 会員（正会員 97、賛助会員 64、オブザーバー（学識者を含む）22）となり、2022 年 4 月 1 日時点に比べ 8 増 1 減となりました。今後も引き続き会員の獲得に向けた活動を行う予定です。

本協議会の運営においては、①会員との情報の共有と連携　②理事会での協議内容の反映　③バイオガス部会運営幹事会及び木質バイオマス部会運営幹事会では、資源エネルギー庁主催の再生可能エネルギー関連委員会等での要望内容等の検討、バイオマス関係 7 府省への政策提言の原案作成情報収集や協議を行いました。

2022 年度の主な活動としては、総会 1 回（6 月）、理事会 4 回（6 月(2 回),9 月,2 月）、部会(2 月)、バイオガス部会運営幹事会及び木質バイオマス部会運営幹事会(10 月,12 月,2 月)を行いました。

バイオマス関係 7 府省からの情報提供とシンポジウムは、例年通り 2 月に開催しました。また、勉強会(7 月)、有識者及びバイオマス関係府庁との意見交換会(12 月)、新規バイオマス産業都市選定地域との情報交換会(2 月)、国際バイオマス展等へのブース出展(8 月,11 月,3 月)を行いました。さらに、3 年ぶりに、京都市と南丹市において先進事例視察会（10 月）を開催しました。

１．会員の状況

2022 年度における会員の増減は次の通りです。

会員区分	2022 年 4 月 1 日	2023 年 3 月 31 日	増減
正会員	94	97	3 増
賛助会員	62	64	3 増 1 減
オブザーバー	20	22	2 増
合計	176	183	8 増 1 減

２．会務の運営

（１）総会（1 回開催）

１）第５回総会（文書審議）

審議期間：２０２２年６月１６日（水）～７月２１日（火）

審議内容：

第１号議案　バイオマス産業都市推進協議会２０２１年度事業報告及び収支決算について

第２号議案　バイオマス産業都市推進協議会役員の選任について

文書審議結果：

正会員数　　９３会員（バイオマス産業都市選定地域　９３自治体）

文書審議提出　９３会員（バイオマス産業都市選定地域　９３自治体）

議案賛否

①　第１号議案：バイオマス産業都市推進協議会　２０２１年度事業報告及び収支決算等について　賛成９３、反対０

②　第２号議案：バイオマス産業都市推進協議会　役員の選任について　賛成９３、反対０

上記の通り、全ての議案について、全員の賛成をもって可決。

（２）理事会（４回開催）

１）第１０回理事会

開催日時：２０２２年６月３日（金）１５時００分～１７時００分

開催場所：馬事畜産会館　第１会議室（東京都中央区新川２－６－１６）

Zoom によるオンライン会議も併用

議事内容：第５回総会の議案についての検討及び事業を円滑に進めるための審議

出席者　：理事７名（本人出席４名　代理人１名　委任状２名）

議事次第：

①　バイオマス産業都市推進協議会　２０２１年度事業報告及び収支決算について

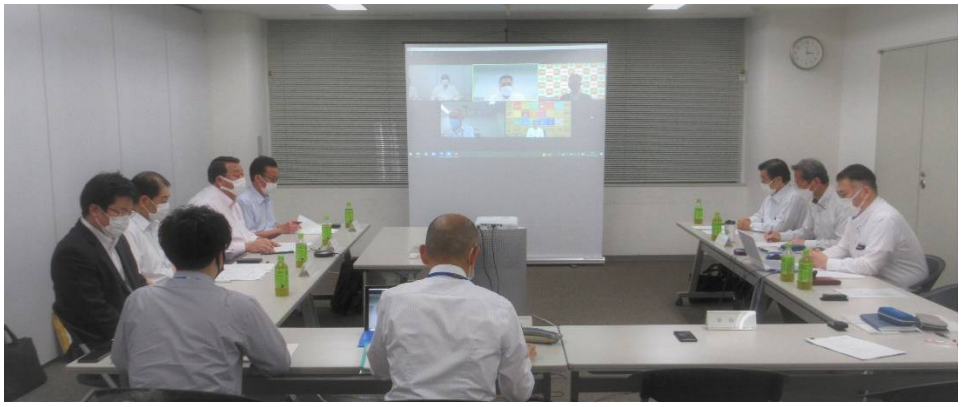
②　バイオマス産業都市推進協議会　規約の改正について

③　バイオマス産業都市推進協議会　情報公開要領について

④　バイオマス産業都市推進協議会　役員の選任について

⑤　バイオマス産業都市推進協議会　第５回総会の開催について

⑥　バイオマス産業都市推進協議会　先進事例視察及び第２回勉強会について



第１０回理事会

２）第１１回理事会（文書審議）

審議期間：２０２２年６月７日（火）～６月１７日（金）

審議内容：

① 第１号議案　バイオマス産業都市推進協議会　規約（改正案）について
② 第２号議案　バイオマス産業都市推進協議会　事業振興積立金規程（案）について

３）第１２回理事会

開催日時：２０２２年９月２２日（木）１３時３０分～１５時３０分
開催場所：馬事畜産会館　第３会議室（東京都中央区新川２－６－１６）
　　Zoom によるオンライン会議も併用
出席者　：理事７名（本人出席５名　代理人１名　委任状１名）
議事次第：
① バイオマス産業都市推進協議会　２０２２年度事業中間報告について
② 事業振興積立金について
③ 今後のスケジュールについて
④ 先進事例視察について
⑤ バイオマス関係省庁との意見交換について
⑥ バイオマス関係７府省からの情報提供、部会について
⑦ バイオマス産業都市推進シンポジウムについて
⑧ ２０２３年度バイオマス関連予算概算要求について

第１２回理事会の様子

４）第１３回理事会

開催日時：２０２３年２月２日（木）１０時３０分～１２時００分
開催場所：日比谷図書文化館４階セミナールーム A（東京都千代田区日比谷公園１−４）
　　Zoom によるオンライン会議も併用
出席者　：理事７名中７名出席（本人出席５、代理人１名、委任１名）
議事次第：
① バイオマス産業都市推進協議会　２０２２年度中間報告と今後の予定について
② ２０２３年度事業計画及び収支予算（案）について
③ ２０２２年度バイオマス産業都市構築の推進に関する提言書（案）について

（３）監査（文書審議）

監査期間：２０２２年６月６日（月）～６月９日（木）

監査方法：文書審議による監査

監査内容：２０２１年度の事業報告及び収支決算についての監査

３．事業活動

（１）部会（５回開催）

１）バイオガス部会第８回運営幹事会

開催日時：２０２２年１０月１２日（火）１５時３０分～１７時３０分

開催会場：スペースまる八　AB 会議室(東京都中央区日本橋茅場町１－１２－２)

Zoom によるオンライン会議も併用

議事内容：バイオガス部会運営幹事会　幹事の増員等について

バイオガス発電における直近の議論内容について

２０２３年２月の部会に向けた提言骨子に関する意見交換

出席者　：２０名（会場参加１１名　Web 参加７名（代理人１名を含む）　委任２名）

バイオガス部会第８回運営幹事会の様子

２）バイオガス部会第９回運営幹事会

開催日時：２０２２年１２月９日（金）１５時３０分～１７時３０分

開催会場：馬事畜産会館２階第１会議室（東京都中央区新川２丁目６-１６）

Zoom によるオンライン会議も併用

議事内容：秋元圭吾先生、農林水産省及び環境省との意見交換会の報告

出力制御機器の技術仕様について

２０２２年度バイオマス産業都市推進協議会　提言書案について

出席者　：２１名（会場参加９名　Web 参加１０名（代理人２名を含む）　委任２名）

バイオガス部会第９回運営幹事会の様子

３）木質バイオマス部会第７回運営幹事会

開催日時：２０２２年１０月１９日（水）１４時３０分～１６時３０分

開催場所：馬事畜産会館２階第３会議室（東京都中央区新川２－６－１６）

Zoom によるオンライン会議も併用

議事内容：木質バイオマス部会運営幹事会　幹事の増員等について

株式会社エフオンから FIT 期間満了後の対応について情報提供

２０２３年２月の部会に向けた提言骨子に関する意見交換

出席者　：２１名（会場参加１２名　Web 参加６名　委任３名）

木質バイオマス部会第７回運営幹事会の様子

４）木質バイオマス部会第８回運営幹事会

開催日時：２０２３年１２月１３日（火）１５時３０分～１７時３０分

開催場所：日比谷図書文化館　４階　セミナールーム（会議室）B

（東京都千代田区日比谷公園１－４）

Zoom によるオンライン会議も併用

議事内容：秋元圭吾先生、農林水産省及び環境省との意見交換会の報告

２０２２年度バイオマス産業都市推進協議会　提言書案について

出席者　：１８名（会場参加１１名　Web 参加５名　委任２名）

木質バイオマス部会第８回運営幹事会の様子

５）第１０回バイオガス部会

開催日時：２０２３年２月２日（木）１４時００分～１６時００分

開催場所：日比谷図書文化館４階小ホール（東京都千代田区日比谷公園１−４）

オンライン会議も併用

座　　長：喜井　知己　氏（バイオマス産業都市推進協議会　理事　北海道鹿追町長）

議事内容：２０２２年度の提言書内容の検討

第１０回バイオガス部会の様子

６）第９回木質バイオマス部会

開催日時：２０２３年２月２日（木）１６時３０分～１８時３０分

開催場所：日比谷図書文化館４階小ホール（東京都千代田区日比谷公園１−４）

オンライン会議も併用

座　　長：黒澤　八郎　氏（バイオマス産業都市推進協議会　理事　群馬県上野村長）

議事内容：２０２２年度の提言書内容の検討

第９回木質バイオマス部会の様子

（２）バイオマス関係７府省からの情報提供

開催日時：２０２３年２月３日（金）１０時３０分～１２時４５分

開催場所：日比谷図書文化館地下大ホール（東京都千代田区日比谷公園１−４）及び
Zoom によるオンライン配信

情報提供：

１．会長挨拶(10 時 30 分～10 時 35 分)

バイオマス産業都市推進協議会　会長（北海道興部町　町長）　硲　一寿　氏

２．バイオマス関係７府省からの情報提供(10 時 35 分～12 時 20 分 ； 各 15 分)

・内閣府　　科学技術・イノベーション推進事務局　企画官（バイオ）　宇井　伸一　氏

・総務省　　地域力創造グループ　地域政策課　企画第二係長　渡部　隆司　氏

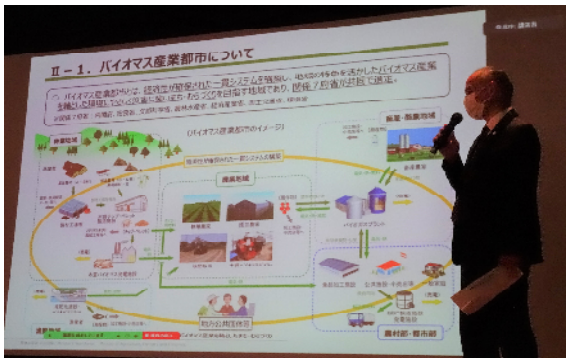
・文部科学省　研究開発局　環境・エネルギー課　課長補佐　吉元　拓郎　氏

・農林水産省　大臣官房　環境・バイオマス政策課　再生可能エネルギー室
室長　西尾　利哉　氏

・経済産業省　資源エネルギー庁　省エネルギー・新エネルギー部　新エネルギー課
課長補佐　菊野　泉　氏

・国土交通省　水管理・国土保全局　下水道企画課　資源利用係長　藤岡　勝之　氏

・環境省　　地球環境局地球温暖化対策課　課長補佐　北井上　礼樹　氏



農林水産省　西尾室長

経済産業省　菊野課長補佐

（３）バイオマス産業都市推進シンポジウム

開催日時：２０２３年２月３日（金）１４時００分～１７時００分

開催場所：日比谷図書文化館地下大ホール（東京都千代田区日比谷公園１−４）及び
Zoom によるオンライン配信

プログラム：

開会挨拶　１４時００分～１４時０５分

第１部　講演・事例報告　１４時０５分～１５時４５分

〇基調講演　１４時０５分～１５時０５分

公益財団法人地球環境産業技術研究機構　システム研究グループ

グループリーダー・主席研究員　秋元　圭吾　氏

「カーボンニュートラル実現に向けてのバイオマスの貢献」

○事例報告　１５時０５分～１５時４５分

木質バイオマス部門　１５時０５分～１５時２５分　岡山県真庭市　市長　太田　昇　　氏

バイオガス部門　　１５時２５分～１５時４５分　愛知県半田市　市長　久世　孝宏　氏

株式会社ビオクラシックス半田　猪飼　幸輝　氏

（休憩　１５時４５分～１５時５５分）

第２部　パネルディスカッション「バイオマス事業の課題と今後の展望」

１５時５５分-１６時５５分

パネリスト：第１部ご登壇者、コーディネーター：バイオマス産業都市推進協議会　会長・北海道興部町　町長　　裕　一寿　氏

閉会　１７時００分

秋元圭吾先生

パネルディスカッション

（４）新規バイオマス産業都市選定地域との意見交換会

開催日時：２０２３年２月６日（月）１５時００分～１６時００分

開催場所：農林水産省本館　第２特別会議室*

（東京都千代田区霞が関１－２－１）

*2022 年度のバイオマス産業都市選定地域の認定証授与式に続き同じ会場で実施

議事内容：新規バイオマス産業都市の紹介

北海道浜中町、群馬県長野原町、滋賀県竜王町、広島県世羅町

バイオマス産業都市推進協議会の入会説明

認定授与式記念撮影

意見交換会の様子

（５）2022 年度バイオマス産業都市構築の推進に関する提言書の提出

2023 年 2 月 2 日の部会で議論された意見を集約し、バイオマス産業都市推進の構築に関する提言書を取りまとめました。提言書案は全協議会会員へ回覧し、意見の反映等について調整した後、2023 年 3 月 27 日に北海道興部町硲町長（会長）、岡山県真庭市太田市長（副会長）、北海道鹿追町喜井町長（理事・バイオマス部会長）、群馬県上野村黒澤村長（理事・木質バイオマス部会長）、北海道別海町曽根町長（理事）、栃木県さくら市花塚市長（監事）、北海道湧別町刈田町長、北海道鶴居村大石村長、岡山県西粟倉村青木村長の９名の首長により、バイオマス関係７府省（内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省）へ提言書を提出しました。

＜提言骨子＞

【バイオマス産業都市構築に関わる施策の継続と強化】（バイオマス関係７府省）

一、バイオマス産業都市に選定された市町村の数は 2023 年 1 月 12 日時点で 101 まで増加しましたが、本格的なバイオマス産業都市の構築に向けた施策を継続して頂きたい。選定後の事業実施に向けた委員会の運営や詳細な事業計画の策定及び設備導入のための設計等に資する FS 調査等の事業化支援、先行地域の取組の横展開、停滞気味の地域に対するハンズオン支援の強化、バイオマス産業都市に選定されていることによる価値の発揮を進めて頂きたい。

一、バイオマス産業都市におけるバイオマス活用の取組は、自治体の計画や地域の振興に大きく関わっており、外国産のバイオマス資源を輸入した大規模なバイオマス発電事業等とは大きく異なることに加え、燃料調達環境の観点から競合する事例も多く見受けられることを踏まえ、地域経済に広く裨益し、国内の農林業や地域資源の持続性の担保にも大きく寄与する地域共生型のバイオマス発電所については、その特性を評価し、海外資源によるバイオマス事業とは切り離した支援を行うようお願いしたい。

【FIT・FIP 関連】（経済産業省・環境省・農林水産省）

一、地域のバイオマス資源を活用したバイオマス発電が、エネルギーの地産地消を通じ、農山漁村の産業振興の創出、雇用促進等、地域の活性化や課題解決に多大に貢献することを踏まえ、引き続き、その特質に応じた制度運用を維持できるようにご配慮を頂きたい。

一、バイオマス発電事業等に関わる事業者に対する国、県の審査及び支援については事業経営の安定性・健全性を充分に考慮して頂きたい。また、メタン発酵バイオガス発電事業の FIT 申請における原料調達に関する添付書類として、食品廃棄物等の排出事業者からの覚書、契約書を必須とする項目については、施設稼働前の状況で、排出事業者と覚書や契約書を締結することが困難であることから、排出の意思があることを表する何らかの資料の提出とするなどの申請条件の緩和をお願いしたい。

一、出力制御のオンライン化については、バイオマス発電の特質を踏まえた対策を講じて頂くとともに、必要な技術仕様や設備導入の情報提示と導入のための資金支援をして頂きたい。また、出力制御機器以外でも必要な設備は資本費に含めて頂くような措置を講じて頂きたい。

一、今後、FIT 期間を終了する施設が徐々に増えてくる中、森林資源の持続的利用の担保と発電事業の持続性の両立の観点からは、燃料調達に係るコスト（熱配管の敷設コストも含む）の低減には限界があることを踏まえ、地域産の燃料材を主とした木質バイオマス発電所の持続性の確保のための対策についてご検討いただきたい。

一、併せて、長寿命化の観点から引き続き地域内の森林資源の利用継続に関するバイオマス事業の補助等の支援をお願いしたい。

一、FIT 期間の終了を見据えた既存設備の一部改修や大規模改修は多額の費用を要することや未利用材のコストの低減には、現在の林業の生産性を鑑みると限界があるため、未利用材を中心とした森林資源の利用推進・継続のための新たな支援措置をお願いしたい。

一、FIP の導入に伴うアグリゲーターの育成や、発電事業者とアグリゲーター、小売電気事業者との連携の推進に関する支援をお願いしたい。

【熱利用】（経済産業省・環境省・農林水産省・総務省）

一、バイオガスの直接利用や熱利用については有効性が認められているものの、現行では補助や支援が少ない。熱利用の推進が構築されれば、様々な熱産業が創出されることから、今後、FIT のような制度や設備補助の支援の他、バイオガスの直接利用に向けた普及促進の措置をお願いしたい。

一、バイオガスから精製したメタンガスの成分や熱量などに一定の規格と、それに対する原産地証明のような制度を設けていただき、再生可能ガス買取が普及するような支援をお願いしたい。また、ガス事業者のバイオガス受入条件の緩和につながる標準熱量引き下げの早期実現をお願いしたい。

一、バイオマスの熱電併給システムにおいては、発電部分のみが支援されているが、熱についても評価いただき支援をお願いしたい。

一、バイオマス産業都市におけるバイオマスの熱利用に関し、化石燃料の削減を目的とした温暖化対策としての意義を踏まえ、ハードへの支援に加え、バイオマス由来の熱を地域で使うための需給マッチングにも資する地域で活用できる情報を整備して頂きたい。

【脱炭素先行地域関連等】（環境省・経済産業省・農林水産省）

一、脱炭素先行地域に選出された自治体等が使える予算については、省庁の連携により、計画がスムーズに実施できるような措置を講じて頂きたい。

一、バイオマス産業都市による脱炭素先行地域や重点対策加速化事業への応募に当たっては、省庁の方針に基づき温暖化対策に資する構想や計画を提出して認定されているものは、何らかの加点措置を講じて頂きたい。

一、バイオマス産業都市におけるバイオマス事業の推進は CO_2 削減に大きく貢献することから、カーボンプライシングにより得られた資金が地域に還元されるような仕組みの構築をお願いしたい。

【バイオマス関連の技術開発】（農林水産省・経済産業省・環境省・国土交通省・文部科学省）

一、バイオマス活用のための設備・機器に関しては、海外製への依存が高く、国内の地域特性に順応した技術開発が進んでいないことから、国内メーカーにおけるメタン発酵装置、ガスエンジン、広葉樹に対応した伐採機、小型ボイラ、バイオ炭製造装置等の高効率化に関する技術開発、ならびに自治体と国内メーカーが協力して実証を行う仕組みについての支援をお願いしたい。

一、バイオ液肥の濃縮は輸送・散布のコストやCO_2排出の削減に貢献することから、濃縮技術の開発支援を加速化して頂きたい。

一、木質バイオマスガス化設備から生産されるバイオ炭は、国の2050年実質カーボンニュートラルの達成及び炭素貯留に大きく貢献することが期待されるため、バイオ炭の利活用の高度化に資する技術開発への支援と利用拡大の措置をお願いしたい。

一、地域レジリエンス強化や地域分散型のバイオマスエネルギー利用を推進する技術開発の支援をお願いしたい。

一、バイオガスからメタンガス、メタノールや水素等を製造・利用する技術開発や下水汚泥からの高効率なリン回収についての技術開発を促進する支援をお願いしたい。

一、ICT 活用に関する技術開発や他の再生可能エネルギーとの連携を促進する技術開発の支援をお願いしたい。

【その他】(農林水産省・経済産業省・環境省・国土交通省・総務省・内閣府)

一、地域のバイオマス資源として十分活用されていない、林地残材、公園や街路樹の剪定枝ダムや河川の支障木等について、バイオマス資源として利用できる仕組みの構築を行うとともに、活用に必要な重機等に対する支援をお願いしたい。

一、廃食用油は貴重な資源であり、有価で取引されている現状を踏まえ、未だ未利用となっている家庭系一般廃棄物の廃食用油を、自治体や国の主導で回収する仕組みづくりの支援をお願いしたい。また、廃食用油から製造されるバイオディーゼル燃料をはじめ、新技術の水素化分解油 (HVO; Hydrotreated Vegetable Oil)や高品質な炭化水素系バイオ燃料 (HiBD; High quality-Bio Diesel)等のバイオ燃料においても、利用の際には化石燃料と同様の軽油取引税が掛かることや、機械メーカー保証がないことが、バイオ燃料導入の阻害となっていることから、バイオディーゼル燃料をはじめバイオ燃料全体の利用拡大に向けた支援や補助をお願いしたい。

一、一般廃棄物処理施設における有機資源活用については、家庭系・事業系一廃ごみにおける有機資源の分別回収・利用を促進するような措置をお願いしたい。

一、荒廃農地等復旧利用が困難な農地において、資源作物を栽培して燃料化につなげる取組は、食料競合の議論から切り離して頂きたい。また、広葉樹・早生樹及び資源作物の集約的な栽培やバイオマス資源としての利活用を推進する施策を講じるとともに、実践的な実証試験や取組への支援を頂きたい。併せて、今後これらの取組を進めようとする地域が、これまでの各地域における広葉樹・早生樹の活用の実践による収支構造等に係る知見にアクセスしやすくなるよう、分かりやすい形で取組例を取りまとめ、事例集の形で共有いただきたい。

一、昨今の化学肥料の価格高騰を背景にバイオ液肥が注目されているところであるが、バイオ液

肥のさらなる普及拡大に向けた支援をお願いしたい。

一、バイオ液肥は現行の肥料登録における区分では個別の項目がないことから、新たに「バイオ液肥」の項目を追加して頂きたい。また、下水汚泥由来のバイオマスを原料とする堆肥やバイオ液肥は現行では有機農産物に使用可能な資材として認められていないことから、安全性が担保された下水汚泥由来のバイオマスを原料とする堆肥やバイオ液肥及び乾燥汚泥が有機農業で使用可能となる措置をお願いしたい。

一、バイオ炭について、国内では J-クレジット制度による農地施用の炭素貯留が進んでいるが、欧州の事例等も参考に、農地以外への施用（街路樹、道路造成工事等）及びクレジット化を進めることで、炭素貯留の普及、拡大を進めて頂きたい。

一、下水処理場での食品残渣混合利用については所管している省庁が複数にまたがり、手続き等に時間を要することから、一本化された窓口及びガイドラインを整備して頂きたい。

一、バイオマス施設等に関しては、試運転後の実際の運用等について、メーカー等の技術者から現場の管理者への人材育成が必要不可欠であるため、施設が安定的に稼働するまでの約 2 年間の人材育成費用を支援頂きたい。

一、バイオマス活用による地域経済効果の定量化手法や具体的な算定事例の情報を蓄積することで、バイオマスエネルギーの優位性を発信するとともに、各種支援の評価ポイントとして地域経済効果を位置づけていただきたい。

経済産業省　資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー課

環境省　大臣官房　地域脱炭素事業推進課
地球環境局　地球温暖化対策課

（６）勉強会

バイオマスに関する情報提供の一環として、2021 年度に引き続き本協議会会員限定の第２回勉強会を実施しました。

第２回勉強会

開催日時：２０２２年７月１９日（火）１３時３０分～１５時３０分

開催方式：Zoom によるリモート勉強会

出席者　：１５２名

（自治体会員５９名、企業・団体会員４１名、オブザーバー４６名、事務局６名）

プログラム

開会挨拶　１３時３０分～１３時３５分

バイオマス産業都市推進協議会　会長・北海道興部町　町長　　碌　一寿　氏

脱炭素先行地域の紹介（各２０分）

①　北海道鹿追町１３時３５分～１３時５５分

「多様なエネルギーの循環とレジリエンス強化、環境価値の向上による地方創モデル「MIRAI COUNTRY」の提唱」について

北海道鹿追町企画課企画係　ICT・エネルギー担当係長　林　大介　氏

②　秋田県大潟村１３時５５分～１４時１５分

「自然エネルギー100%の村づくりへの挑戦！～第１章電気編～」について

秋田県大潟村生活環境課環境班（兼）生活班　主査　石川　猛　氏

③　岡山県真庭市１４時１５分～１４時３５分

「森とくらしで循環 ゼロカーボンシティ真庭」について

岡山県真庭市産業観光課産業政策統括監　石井　裕隆　氏

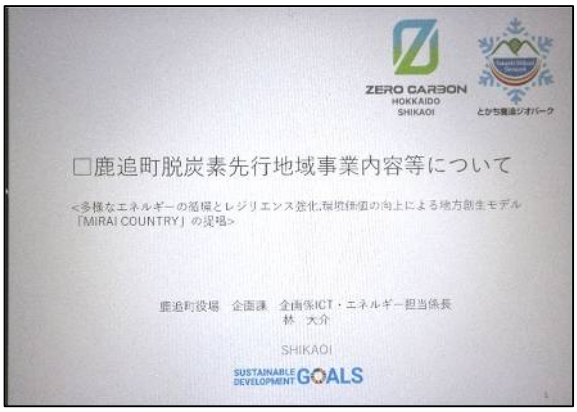
④　岡山県西粟倉村１４時３５分～１４時５５分

「2050“生きるを楽しむ”むらまるごと脱炭素先行地域づくり事業」について

岡山県西粟倉村産業観光課課長補佐　　白籏　佳三　氏

質疑応答　１４時５５分～１５時２５分

閉会



北海道鹿追町

秋田県大潟村

岡山県真庭市

岡山県西粟倉村

（７）先進事例視察

開催日時：２０２２年１０月３日（月）～４日（火）

視察場所：２０２２年１０月３日　（１日目）京都市

京都市南部クリーンセンター、環境学習施設「さすてな京都」、

京都市廃食用油燃料化施設

２０２２年１０月４日　（２日目）南丹市

京都府南丹市　八木バイオエコロジーセンター

参加者　：５０名（のべ人数）

京都市南部クリーンセンター

八木バイオエコロジーセンター

（８）有識者及びバイオマス関係省庁との意見交換会

公益財団法人地球環境産業技術研究機構の秋元圭吾先生及び農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課、環境省大臣官房地域脱炭素事業推進課と意見交換会を行いました。

１）秋元圭吾先生との意見交換会

開催日時：２０２２年１２月５日（月）１３時３０分～１５時００分

開催場所：　田中田村町ビル貸会議室　５階会議室　東京都港区新橋２－１２－１５

プログラム：

・１３時３０分～１３時３３分

挨拶　硲　一寿（北海道興部町長、バイオマス産業都市推進協議会会長）

・１３時３３分～１４時００分

バイオマス産業都市選定地域の紹介（各自治体）

・１４時００分～１４時５０分

自治体紹介に関しての質疑応答及びバイオマス利活用の推進に関する意見交換

・１４時５０分～１５時００分

総括 秋元圭吾先生（公益財団法人地球環境産業技術研究機構　システム研究グループ　グループリーダー・主席研究員）

出席者：

公益財団法人地球環境産業技術研究機構　システム研究グループ　グループリーダー・主席研究員　秋元　圭吾　氏

首長６名

北海道興部町	町長	硲　一寿	氏（会　長）
北海道下川町	町長	谷　一之	氏（木質バイオマス部会　運営幹事）
岡山県西粟倉村	村長	青木　秀樹	氏（木質バイオマス部会　運営幹事）
北海道湧別町	町長	刈田　智之	氏
北海道鶴居村	村長	大石　正行	氏
秋田県大潟村	村長	髙橋　浩人	氏

随行者４名　事務局５名

議事内容：バイオマス利活用の推進及びFITに関する意見交換

秋元圭吾先生

意見交換会の様子

２）農林水産省との意見交換会　会議次第

開催日時：２０２２年１２月５日（月）１５時３０分～１６時４０分

開催場所： 農林水産省　技術会議委員室

プログラム：

・１５時３０分～１５時３３分

挨拶　硲　一寿（北海道興部町長、バイオマス産業都市推進協議会会長）

・１５時３３分～１５時５５分

バイオマス産業都市選定地域における取組の紹介（各自治体）

・１５時５５分～１６時４０分

自治体紹介に関しての質疑応答及びバイオマス利活用の推進に関する意見交換

出席者（農林水産省）

農林水産省　大臣官房　審議官（技術・環境）　岩間　浩氏

農林水産省　大臣官房　環境バイオマス政策課　再生可能エネルギー室長

西尾　和哉　氏

農林水産省　大臣官房　環境バイオマス政策課　課長補佐（技術班担当）溝添　正一　氏

農林水産省　大臣官房　環境バイオマス政策課　係員　寺内　直人　氏

林野庁　林政部　木材利用課　監査官　徳留　善幸　氏

林野庁　林政部　木材利用課　木質バイオマス推進班　企画官　都築　高志　氏

首長６名

北海道興部町　　町長　碕　一寿　　氏　（会　長）

北海道下川町　　町長　谷　　一之　　氏　（木質バイオマス部会　運営幹事）

岡山県西粟倉村　村長　青木　秀樹　氏　（木質バイオマス部会　運営幹事）

北海道湧別町　　町長　刈田　智之　氏

北海道鶴居村　　村長　大石　正行　氏

秋田県大潟村　　村長　髙橋　浩人　氏

随行者４名　事務局５名

議事内容：バイオマス利活用の推進に関する意見交換

農林水産省との意見交換会の様子

３）環境省との意見交換会

開催日時：２０２２年１２月５日（月）１７時００分～１８時００分

開催場所：　環境省　第１会議室

プログラム：

・１７時００分～１７時０３分

　挨拶　碕　一寿（北海道興部町長、バイオマス産業都市推進協議会会長）

・１７時０３分～１７時２５分

　バイオマス産業都市選定地域の紹介（各自治体）

・１７時２５分～１８時００分

　自治体紹介に関しての質疑応答及び脱炭素先行地域に関する意見交換

出席者

環境省　大臣官房地域脱炭素事業推進課長　　犬丸　淳　　氏

環境省　大臣官房地域脱炭素事業推進課　課長補佐　　髙橋　亮介　氏

環境省　大臣官房地域脱炭素事業推進課　課長補佐　　水嶋　周一　氏

環境省　大臣官房地域脱炭素事業推進課　環境専門調査員　木村　桜子　氏

首長６名

北海道興部町　　町長　碕　一寿　　氏　（会　長）

北海道下川町　　町長　谷　　一之　　氏　（木質バイオマス部会　運営幹事）

岡山県西粟倉村　村長　青木　秀樹　氏　（木質バイオマス部会　運営幹事）

北海道湧別町　　町長　刈田　智之　氏
北海道鶴居村　　村長　大石　正行　氏
秋田県大潟村　　村長　髙橋　浩人　氏
随行者４名　事務局５名
議事内容：バイオマス利活用の推進及び脱炭素先行地域に関する意見交換

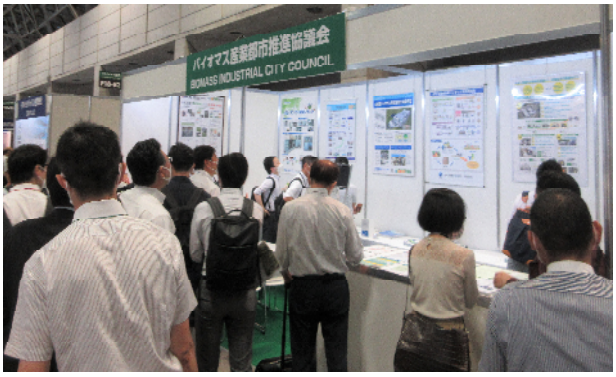
環境省との意見交換会の様子

（９）国際バイオマス展等へのブース出展

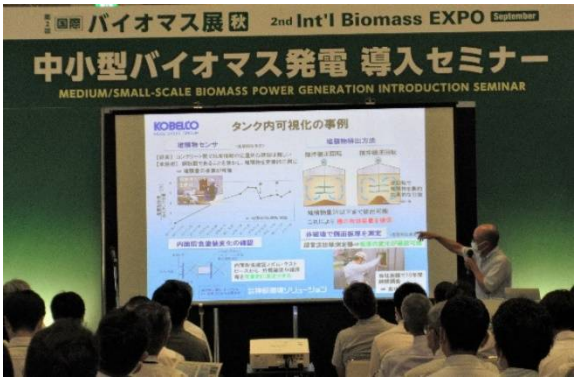
バイオマス産業都市推進協議会の賛助会員の取組を広報することを目的としてRXJapan(株)が主催する国際バイオマス展及び関西バイオマス展にブース出展を行いました。

１）国際バイオマス展（秋展）

開催期間：２０２２年８月３１日（水）～９月２日（金）
開催会場：幕張メッセ



ブース展示の様子（幕張メッセ）



協議会会員のセミナー講演の様子（幕張メッセ）

２）関西バイオマス展

開催期間：２０２２年１１月１６日（水）～１１月１８日（金）
開催会場：インテックス大阪

ブース展示の様子（インテックス大阪）

協議会会員のセミナー講演の様子（インテックス大阪）

３）国際バイオマス展（春展）

開催期間：２０２３年３月１５日（水）～３月１７日（金）

開催会場：東京ビッグサイト

ブース展示の様子（東京ビッグサイト）

協議会会員のセミナー講演の様子（東京ビッグサイト）

以上